



研修旅行実施

燕三条地域を訪問

経済産業省関東経済産業局とコンシェルジュによる地域の魅力発見・発信事業の一環として、8月に新潟県燕市・三条市の視察会が開催されました。レ・クレドール ジャパン会員4名が参加しました。



1日目に工場(こうば)3箇所および農園1箇所を訪れました。まずは「タダフサ」にて包丁作りの技を拝見。包丁ができるまでには21もの工程があるとのこと。工房を見学した後にファクトリーショップで見た包丁は殊更美しく感じました。

次に米や50種類もの野菜を栽培する「内山農園」を訪れ、農園内に設置されたテントにて地元の食材を使用した美味しいお弁当と農園特製のジェラートを畦道に設置した Snow Peak のテント内でいただきました。昼食後には小松菜の収穫体験をさせていただきました。

2日目の工房は銅器の老舗である「玉川堂」。店舗は築100年を超える明治末の建物で、国の登録有形文化財に指定されています。鋳打ち、色付け、焼きなまし等、様々な作業を見せていただきました。職人1年目は下積み期間。若手の職人さんは就業時刻後に自分の作品を製作し、技を磨いているとのことでした。

その次に訪れた「大泉物産」は創業74年のカトラリー製造会社で、デザイン性の優れた数々のカトラリーを製作しています。ショールームにはデンマークのデザイナー Kay Bojesen や Ole Palsby のデザインによるカトラリーなど様々なカトラリーが展示されていました。2日目には、ボランティアガイドの西澤様に弥彦神社をご案内いただきました。その後、シェフ・プロ用の包丁を主に製造する工房「藤次郎」を訪れました。製造工程で排出されるブランク材を用いて新しい作品を生み出すブランキングアートの取り組みは素晴らしいと思いました。

「燕三条 工場(こうば)の祭典」が10月初旬に開催されました。様々な工場・耕場を訪れ、職人の手仕事を間近に見て話を聞き、ワークショップに参加することができるイベントです。

イベント期間以外でも見学可能な工場がありますので、多くの方に訪れていただきたいと思います。職人の誇りを感じることでできる燕三条。とても魅力ある地域でした。(小嶋しのぶ)

新規入会

フォーシーズンズホテル丸の内 東京のシェフコンシェルジュ アキル・ティワリ氏の入会が承認されました。

10月1日現在、レ・クレドール ジャパンは名誉会員2名、会員28名、賛助会員16社で活動しております。



8月定例会開催

水陸両用観光バスを体験

8月23日に横浜にて開催され、25名が出席しました。通訳案内士で歌舞伎に精通をされている矢部様をお迎えして知識を深めました。後半は、賛助会員でいらっしゃる日の丸ムジンの協力により、水陸両用観光バスのスカイダックバスを試乗させていただきました。当日は猛暑でしたが、海から見るみなとみらいの景色とそよ風を堪能いたしました。



第10回アジアンコンgres参加

日本から8名が参加

第10回を迎えるアジアンコンgresではアジア各地域よりコンシェルジュが集結し、それぞれの考えや課題、レ・クレドールの発展の可能性について話し合いました。

日本チームはインドの伝統的な音楽やダンスを通してインドの文化を体験し学ぶことができました。

レ・クレドール インドの Edwin Saldanha 会長は皆に「熱意と巧みな技術をもって前進せよ」と心に響くスピーチをされました。私たちそれぞれがホテルブランドを背負っており、その品位を守り保つことができるのは私たち自身ですと述べられました。

ムンバイの Trident Nariman Point の Sanju Soni 総支配人は「コンシェルジュ」という職業の完全な定義はないと述べたうえで、コンシェルジュはひたすらお客様の期待を超えたものを提供していくのですと話されました。私も心底そう思います。



レ・クレドール インターナショナルの Simon Thomas 会長によるホテルブランドについての考察は私たちに大きな学びとなりました。彼はブランドが期待、信念、信頼を生み、私たちコンシェルジュはいかなる時もこれらを守りお客様にお届けしなければならないと話されました。

ゲストスピーカー Viren D'sa 様からはそれぞれの文化圏同士で共有するものについて、Vikas Agarwal 様からはお客様の満足を追求し続けることにより失敗を“Wow”に塗り替えることができることについてのお話を伺うことができました。

ヨガインストラクター Ankita Sood 様はヨガとその効果について説明され、実際に素晴らしいヨガ体験することができました。

ムンバイの The Taj Mahal Palace のエアディレクター及び GM である Taljinder Singh 様はGoogleやアプリがコンシェルジュの助けにはなるうとも決してコンシェルジュの代わりになることはできないと話されました。コンシェルジュの実体験に基づく情報はどんなアプリによる情報にも勝ることを説明しコンシェルジュの存在意義を説かれました。

ムンバイについて簡単に説明致します。ムンバイはボンベイとしても知られていますが、これはかつて英国民がつけた名です。後に、インド政府は都市名をムンバイに戻しました。ムンバイの名は Mumbadevi の守護女神 Mumbā または Mahā-Ambā に由来し、インドの金融、商業、娯楽の中心都市です。ストリートフードも有名です。ムンバイは陸・海・空路の交通の便が良くインドの多くの都市とつながっているので国内外からの観光客を引きつけます。私達は主な観光地を訪れ、ほぼ毎日インド料理を楽しみました。最後に、有意義な学びの機会を頂けたことを感謝致します。この温かみのある素晴らしい都市を再訪したいと思います。(アキル・ティワリ)

9月定例会開催

賛助会員による講義を実施

9月20日に赤坂(東京)にて開催され、38名が出席しました。賛助会員二社による講義が開催されました。ルイ・ヴィトン様は同社のVIPケアサービスに関するお話をされ、富士鳥居様は明治工芸の超絶技巧に関するお話されました。実物を会場に持参され、なかなか間近で見ることが出来ない工芸品に、参加者は興奮を隠せませんでした。

